

【ニュージーランド滞在記】

オークランド（ニュージーランド）での古書店巡り

山岡 道男（早稲田大学大学院アジア太平洋研究科 教授
オークランド大学ニュージーランド・アジア研究所 訪問学者
日本ニュージーランド学会 元会長）

オークランドでの古書店巡りの第1日目（2013年6月1日：土曜日）

現在、戦前期に中国へ留学し、戦中期は日本軍の捕虜となっていたニュージーランド人について論文を作成している。関連する文献を日本から船便で3冊（英文1冊と邦訳2冊）を送ったが、執筆していて関連資料が欲しくなり、古書店を見て回ることにした。

オークランドに着くと直ぐに行く古書店は、町の中心街の一角で、ブティックが多いハイ・ストリート（High Street）にある1軒である。このRare Booksと言う古書店（3日目に訪問）は有名で、以前は地下にあったが、今は4階に移動し、水曜日と木曜日の午前9時半から午後2時までの時間帯しか開いていない。女主人とも顔見知りで、今回も1度挨拶に行ったが、以前は、オークランド到着日にこの書店へ行き、書籍を大量に購入して日本に送ってもらったこともあった。

街中には、本日の古書店巡りの3番目に行った、Jason Booksと言う古書店がある。以前は、中心街のクイーン・ストリート（Queen Street）の中間地点にある新刊書店である、ウィットコウルズ（Whitcoulls）の近くのビルの2階に店舗はあったが、今は、Rare Booksの近くに移転して開業している。

フェリーボートで10分程渡ると、オークランドの観光地の1つであるデボンポート（Devonport）に着く。ここには、唯一のメイン・ストリートであるビクトリア・ロード（Victoria Road）に沿って、以前は2軒の古書店が、かなり近接してあったが、その内の1軒（Devonport Vintage Bookshop）は最近閉店したので、現在は、船着き場から徒歩で1分の距離にあるEvergreen Booksの1軒しか開いていない。しかし、船着き場内の小さなアーケード街に、古書を扱っている書店（3日目に訪問）があり、最近は、歩道の両側に古書を並べて置いてある。

昨日（6月1日）の午前中に車で行ったのは、オークランドの1つの繁華街地区であるボンソンバイ（Ponsonby）にあるClassics and Suchike Booksと言う名の古書店である。大学へ行く前に、この古書店を探しながら行くと、その近くで駐車することが出来たが、まだ9時半だったので、開店時間の10時まで、車を駐車した横のスーパーで、野菜・卵・パンなどを購入して車に積みこんでいると開店間近になり、5分程前に行くと既に開いていた。女性の店主に迎えられ、欲しかった書籍（一番最初の書籍）を1冊見つけた。ここでは、4

冊を購入し、58 ドルを支払った。

- (01) *Dance of the Peacocks: New Zealanders in Exile in the Time of Hitler and Mao Tse-Tung*, James McNeish, Vintage, 2003, 16 ドル
- (02) *He Tipua: The Life and Times of Sir Apirana Ngata*, Ranginui Walker, Penguin Books, 2001, 14 ドル
- (03) *Spy: A Former SIS Officer Unmasks New Zealand's Sensational Cold War Spy Affair*, C.H. (Kit) Bennetts, Random House, 2006, 12 ドル
- (04) *New Zealand The Story So Far: A Short History*, Edmund Bohan, Harper Collins, 1997, 16 ドル

書籍の代金を支払っている間に支払棚の横を見ると、パンフレットを開くと鳥の鳴き声を聞けるシリーズの冊子が陳列してあったので、その中の1つのツイ (Tui) の鳴き声がするものを追加購入すると、古書店の女主人は、親切にもプレゼントとして無料でくれるとのことであった。ちょうど、ツイ (鳥とビール) に関してエッセイを執筆中であったので、いいタイミングであった。

1 時間程、古書店にいた後に大学へ行き、車を地下駐車場に置き、研究室でメールのチェックをした後に、今度は2つ目の古書店を目指した。これは、徒歩で10分程にある通称ケイ・ロード (正式名は非常に長い、Karangahape) にある古書店に行ったが、ニュージーランドの歴史の書籍は1冊しかなく、たいしたものはない。このケイ・ロードは、クイーン・ストリートの丘側にあるので、赤い色のシティ・リンク (City Link) と言う、クイーン・ストリート沿いの街中の主要な観光スポットを巡回しているバスに、0.5 ドルで乗り、街の中心部まで降りて行った。お腹が空いたので、ステーキハウスに入り、昼定食のステーキを16ドルで食べて元気を出した。

次に、先に紹介した、3番目の Jason Books へ行った。ここでも約1時間にわたり古書を見て回り、下記の5冊を見つけ、合計金額は113ドルであったが、13ドル安くしてもらって、切りの良い100ドルで購入した。

- (05) *The Penguin History of New Zealand*, Michael King, Vintage, 2003, 15 ドル
- (06) *The Shadow of A War: A New Zealander in the Far East 1939-1946*, James Bertram, Whitcombe & Tombs, 1947, 40 ドル
- (07) *Savage's Account of New Zealand in 1805*, A. D. McKinlay, L. T. Watkins, 1939, 40 ドル,
- (08) *The Hawke's Bay Earthquake: New Zealand's Greatest National Disaster*, Robert McGregor, Art Deco Trust, 1998, 8 ドル
- (09) *The History of the Japan-New Zealand Business Council 1974-2000*,

Esme Marris, Japan-New Zealand Business Council, 2002, 15 ドル

論文の中で取り扱っているニュージーランド人とは、上記の書籍の 2 冊目の著者であるジェームズ・B・バートラム (James B. Bertram : 1910-1993) である。彼はニュージーランドで高等学校を終えて、現在私の滞在先であるオークランド大学へ入学し、そこで英文学を専攻したが、1932年にジャーナリズムで学士号を取得し、ローズ奨学金を得てイギリスのオックスフォード大学へ行き、1935年に卒業した。その後、同年末の25歳の時に、ローズ信託基金より1年間の留学資金を得て中国へ留学し、燕京大学で中国語を勉強した。その間に、蒋介石が幽閉されるという西安事件が起こり、取材目的で、北京から11日間をかけて西安へたどり着き、事件直後の状況を取材した。そこでの事件内容と分析を、個人的なレポートとして書籍(*Crisis in China, The Story of the Sian Mutiny*, 1937)で出版し、その翻訳本が戦後になって日本で出版されている。その訳本の2冊は、題名は異なりが原本は同じで、日本からニュージーランドへ送った段ボール箱の中に入れておいたので、現在は手元にある。

オークランドでの古書巡りの第2日目 (2013年6月2日:日曜日)

昨日に続き、本日も、3軒の古書店を車で回った。朝の9時に家を出発し、60キロを走って、3時間半後の午後1時半には家に戻ってきた。

まず、家に一番近いグリーン・レーン・イースト (Green Lane East) という高速道路に入り、国道1号線を北上して、ハーバー・ブリッジ (Harbour Bridge) を越えて、オークランド市街からワイテマタ・ハーバー (Waitemata Harbour) をはさんで反対側のノース・ショー (North Shore) 側に行き、エスモンデ (Esmonde) という高速道路の出口を出て、初めにタカプナ (Takapuna) という、この地区では一番大きな街にある古書店を訪ねた。家を出て30分程でこの町に到着し、地図で調べた場所の近くへ車を停めて、その古書店をのぞいたら、午前10時開店であったので、30分しか駐車出来ない場所から、その古書店の真裏の大きな駐車場へと車を移動して、駐車券を買ったら、1ドルで2時間まで駐車出来る場所であった (街中は、1時間8ドル)。その横のリサイクル店は既に開いており、そこでも古書売っていたので、時間つぶしに見て回って、2冊を4ドルで買った。1冊目は、店の前に置かれていた特売のもので、1ドルであった。

(10) *How to Talk to a Liberal (If You Must)*, Ann Coulter, Crown Forum, 2004, 1 ドル

(11) *Kiwi Jokers: The Rise and Rise of New Zealand Comedy*, Matt Elliott, Harper Collins, 1997, 3 ドル

この古書店は、Mark Book という名で、これまで一度も訪れたことのない店であった。小さなアーケード街の中にあり、ニュージーランドのノンフィクションの棚は、著者名順

に配架されており、とても調べやすかった。約 1 時間見て回り、次の 4 冊を 145 ドルで購入した。

- (12) *The Letters of Thomas Arnold: The Younger (1850-1900)*, James Bertram, Auckland University Press, 1980, 30 ドル
- (13) *Moriori: A People Rediscovered (Revised Edition)*, Michael King, Viking, 1989, 40 ドル
- (14) *The Oxford Illustrated History of New Zealand (New Edition)*, Keith Sinclair(ed.), Oxford University Press, 1998, 30 ドル
- (15) *Aotearoa and New Zealand: A Historical Geography*, Alan H. Grey, Canterbury University Press, 1994, 45 ドル

次に、オークランドの 1 つの観光地であるデボンポート (Devonport) へ車で 10 分程で行き、運よく、目的の古書店の斜め前に駐車スペースを見つけて車を停めた。1 時間以内なら無料で止められる場所で、急いで、既に 1 回は訪ねたことのある古書店に入った。この店は Evergreen Books という名前で、デボンポートの船着き場を出て、1 分の所にある。ニュージーランドのノンフィクション部門の書棚を急いで見て回り、下記の 4 冊を 56 ドルで購入した。

- (16) *Famous New Zealanders: The Human Stories Behind Their Great Achievement at Home and Abroad*, Eugene Grayland, Whitcombe and Tombs, 1969, 24 ドル
- (17) *A History of New Zealand*, Keith Sinclair, Penguin Books, 1980, 12 ドル
- (18) *Spies and Revolutionaries: A History of New Zealand Subversion*, Graeme Hunt, 2007, 14 ドル
- (19) *A Short Short History of New Zealand: Everything You Need to Know*, Gordon Mclauchlan, Penguin Books, 2005, 6 ドル

30 分もかからない内に、書籍の購入が終わったので、この古書店の並びに幾つかあるレストランの中の中華料理店で、14 ドルの昼定食 (ダック) を食べた後、再び車でオークランドの街中へ戻り、そこからオネフンガ (Onehunga) という繁華街へ行き、その中にある古書店へ向かった。今回も運よく、古書店の近くの道路に車を停めることが出来たが、30 分以内までの駐車であった。この 3 番目の古書店は、Books Wanted という名前で、書籍が多すぎるのか、積み上げるように置かれていた。30 分以内には戻らなければならないので、25 分で切り上げ、帰る途中に飲み物を買うと、監視員の女性が私の車を眺めていた。私が車に戻り、運転席に座ると、この監視員は、これまでいた場所を離れて、別の場所に移って行った。ここには、12 時半から 30 分しか居られなかったが、ここを出て家に戻ったのは、

午後 1 時半過ぎであった。この古書店で購入したのは、次の 3 冊で、30 ドルを支払った。

- (20) *Old New Zealand by A Pakeha Maori*, Frederick Edward Mining, Whitcombe and Tombs, 1956, 14 ドル
- (21) *A History of New Zealand (Revised Edition)*, Keith Sinclair, Penguin Books, 2000, 8 ドル
- (22) *Historical Dictionary of New Zealand*, Keith Jackson & Alan McRobie, Longman, 1996, 8 ドル

この 2 日間で、オークランドでトップ 8 に入る古書店の内の 6 軒を見て回ったが、残る 2 軒も、この 4 月からの滞在中に、既に訪問してある店であった。その 1 つは、ハイ・ストリートの Rear Books であり、もう 1 つは、デボンポートの船着き場内にある古書店である。後者の古書店は、ついさっきまで、ベスト 8 の古書店に入っているとは知らなかったもので、本日寄らなかつたが、次週中には再度訪問してみることにする。

オークランドの古書店巡りの第 3 日目 (2013 年 6 月 4 日 : 火曜日)

昨日の月曜日 (6 月 3 日) は、女王陛下の誕生日で公休日であった。天気は、曇ったり晴れたり、暖かい 1 日であったが、本日は、夜中に雨音で目が覚めたように、雨が激しく降ったり、小雨になったり、雨の 1 日であった。

午前 11 時に街中のクイーン・ストリートでアポがあつたので、その前に、火曜日と木曜日の午前 9 時半から午後 2 時までしか開いていない、ハイ・ストリートにある古書店の Rear Books を 10 時前に訪ねた。大学から歩いて 10 分程であるが、雨の中なので、坂道は歩きづらかつた。この店はとても有名で、オークランドでの古書店と言えば、ここを指すほどである。既に、当地へ到着後に一度は訪ねていたもので、目新しいものはないことは分かつていたが、アポまで時間があつたので、様々な書棚を見て回った。首都のウエリントンにいる友人のマルコム・マッキノン (Malcolm McKinnon) さんが編集して出版された厚い書籍 (B4 版の 290 頁) があつたので、これを購入した。これで終わりかと思つて他の書棚を見てみると、さらにもっと厚い書籍 (B5 版の 1782 頁) があつた。これは、日本の敗戦と占領に関する資料で、最後の索引の中に、現在論文を執筆中のジェームズ・B・バートラムの名前もあつたので、購入を決めた。これは、おそらくセット本の 1 冊であつたようで、この第 2 巻しかなかつたので値段も付いていなかったが、100 ドル以下なら購入しようと思つていたところ、女店主は 85 ドルとのことで、すぐに購入を決めた。なお、後に分かつたが、これは 3 冊セットの書籍の第 2 巻であり、第 3 巻の書籍 (*The ZNZUS and the Treaty of Peace with Japan*) も日本とも関係があるので。第 1 日目に訪れた Jason Books で、後日 75 ドルで購入した。

(23) *New Zealand Historical Atlas: Visualising New Zealand*, Bateman, 1997,
55 ドル

(24) *The Surrender and Occupation of Japan: Documents on New Zealand External Relations Volume II*, Robin Kay (ed.), Historical Publications Branch,
Department of Internal Affairs, 1982, 85 ドル

雨も激しく、2冊で5キロ以上もあるような気がするので、その女店主に保管をお願いして、アポの場所へ徒歩5分程で移動した。会合は1時間で終わり、その足で、徒歩3分程のフェリーボートの船着き場に行き、12時15分発のデボンポート行きに乗った。往復で11ドルであったが、デボンポートに5分程で着き、船着き場内にある古書店へ行き、15分程で店内を見終わって、12時45分発のフェリーボートに乗り、オークランドへ戻った。この古書店は、Books@devonportwharf といい、以前は小規模であったが、最近、船着き場内で売店が立ち並ぶ小さなアーケードの両サイドに、古書を並べて売っている。ここも、4月に一度訪れていたもので、直ぐに見るのは終わったが、1冊、ニュージーランドの国立公園に関するパンフレットがあったので、それを購入した。

(25) *Journeys in National Parks*, Christine Dann, TVNZ Publishing, 1987, 9.5 ドル

オークランドに着いて、船着き場の前のショッピング・モールで、昼食として寿司とみそ汁を買って食べ、1時15分過ぎに、ハイ・ストリートの Rear Books へ再び戻り、そこで先ほど購入した重い書籍を2冊受け取って、雨の中を再び乗船場の前にあるバスのターミナル・センターへ行った。そこから循環バスで、大学近くのサイモンズ・ストリート (Symons Street) まで行き、バス停から再び雨の中を歩いて、ようやく研究室にたどり着いた。洋服も濡れていたもので、研究室に置いてあるコンピュータを持って、地下駐車場へ行き、そこからすぐ自宅へ戻った。帰宅時刻は、午後3時半であった。

一時雨が降ったが、午後5時過ぎには止み、西の空に夕陽を見ることが出来た。昼間は、大雨でズボンの裾が濡れてしまったが、今は、空の半分以上が青空である。

これで、オークランドにある8軒の有名な古書店巡りは終わった訳である。本日、3日目の2軒は、既に一度訪問済みであったので、オマケの古書店巡りであった。3日間の古書店巡りでは、金と時間を使ったが、購入した古書を利用して、論文を書けるような気分になったので、それだけでも良かったような気がしている。なお、今回購入した書籍は、25冊 (合計542.5ドル) であるが、内容を分類すると、ニュージーランドの歴史関係 (通史と古い歴史: 02, 04, 07, 13, 14, 15, 16, 17, 19, 20, 21, 22, 23, 24)、ジェームズ・バートラム関係 (01, 06, 12)、スパイもの関係 (03, 18)、その他 (08, 09, 10, 11, 25) に分けられる。これらを利用して、ヤング・マオリ・パーティ (Young Maori Party) とジェームズ・バー

トラムに関する論文を完成させたいと思っている。